

網走市新庁舎建設に係る説明会 議事録

説明先：能取地区

開催日時：令和元年7月5日（木）13時00分～14時00分

説明会場：能取会館

出席者：14名

Q1. 議会ではどのような意見が出ているのか？

- ・6月23日に庁舎建設特別委員会が設置された。今後も議会へは説明等を行うこととなる。2020年夏頃に基本構想をとりまとめ、9月議会に庁舎位置の条例を提案したい。

Q2. 人口の多い高台地区が安全面からも適しているのでは？

- ・人口は潮見や駒場、つくしヶ丘などの上エリアが多いが、15歳以上の昼間人口を上・下エリアで比較すると、どちらも約1万人でほぼ同数である。従業員数では約7割の人が下エリアにいて、昼間の人の流れは、上エリアから下エリアに流れていることがわかる。働いている人としては下エリアに庁舎がある方が便利であると考えられる。
- ・津波に関しては高台の方が安全であることは間違いがないが、津波の影響を受ける下エリアに居住する市民や観光客、労働者の安全を確保するために、庁舎に一時避難機能を持たせて人命を救うことも市役所の使命であると考えている。

Q3. 金市館ビル跡地に防災の観点から安全な庁舎が建設できるのか？

- ・現段階では建設位置も庁舎面積も決まっていないが、金市館ビル跡地周辺敷地とした場合、現本庁舎と西庁舎の合計約7,000㎡と同規模とするならば、7階建て程度になる。
- ・防災上の観点では、建物規模は定まっていないが、高層部分を避難場所として、まちなかの津波に対する安全性の向上を図りたい。
- ・国道、道道は緊急輸送道路に指定されており、災害発生時に道路の確保が優先的に行われる。そのため、国道や道道に面した敷地は災害時のメリットが多い。候補地のうち国道、道道に接しているのは現庁舎と金市館ビル跡地周辺敷地のみで、高台地区は市道にしか面していない。
- ・市の重要なデータを保管する機器や非常用電源を上階に設置することで、災害時に使用することもできるし、災害後の復旧にも早急に対応できるようになる。そのような検討を行いたい。

（ご意見）網走は地震が少ない。

（ご意見）庁舎も大事だが福祉や医療にも力を入れてほしい。

(ご意見)能取や平和としてはどこに建設されても良いが、安全な場所が良いと思う。

(ご意見) 地域と若い市職員が交流を持てる場がほしい。

(ご意見) 市職員には頑張ってもらいたい。